

災害支援に携わる支援者のための研修会

～災害時における被災者の権利と福祉的支援について考える（スフィア基準の基礎）～

開催要項

1 目的

大規模な災害が発生すると、行政、社協、NPO や多くのボランティア等が、被災地内外での支援を開始します。しかし、多種多様な団体が一気に支援を開始することで、被災地や被災者に大きな混乱を与えてしまうこともあります。そのため、支援の在り方や質(クオリティ)を見極める力が必要です。

このような背景を受け、1997年に人道支援に取り組むNGOや国際赤十字・赤新月運動らがプロジェクトを立ち上げ、スフィア基準(正式名「人道憲章と人道支援における最低基準」)が策定されました。スフィア基準とは、災害、紛争の影響を受けた人々の権利を守るために、その人達を支援する活動の最低基準を定めた国際的な基準です。その基本理念として「被災者は、尊厳ある生活を営む権利があり、支援を受ける権利がある」、「災害による苦痛を減らすために、実行可能なあらゆる手段をとらなければならない」と定めています。

そこで、災害支援に携わる福祉支援者がスフィア基準について正しく理解するとともに、多様な関係者間で共有することにより、被災者の生活の質を重視した支援を目指していくことを目的として、本研修会を開催します。

— スフィア基準とは —

支援者が、自然災害(地震、洪水等)や人的災害(紛争、大規模事故等)で被災した方々や地域に対し、生き延びるだけでなく、その尊厳と権利を保った復興に向け「正しい支援を適切に提供」するためにまとめられた一連の理念、原則等。国際条約等を根拠に持つ国際社会で認知された「普遍的基準」。(JQAN作成資料より抜粋)

- | | |
|---------|---|
| 2 共 催 | 社会福祉法人熊本県社会福祉協議会
支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク(JQAN)
特定非営利活動法人バルビー |
| 3 協 力 | 熊本県、ジャパン・プラットフォーム、国際協力NGOセンター |
| 4 対 象 者 | 県内の社会福祉協議会職員、NPOなど災害支援に携わる支援者・団体 |
| 5 定 員 | 定員は30名とし、定員に達した際は、締切りとなります。 |
| 6 参 加 費 | 無料 |
| 7 日 程 | (1) 集合研修
令和7年3月18日(火) 10時～16時
会場 熊本県防災センター 102会議室

(2) 事前学習(資料通読及びオンデマンド動画配信)
令和7年3月4日(火)～3月17日(月)まで
※集合研修の開催前日までに各自で御通読・御視聴ください。 |

8 内 容

(1) 集合研修

※ 令和7年3月18日(火) 熊本県防災センター 102 会議室

10:00~10:20 開会、自己紹介

10:20~15:30 研修（講義と事例演習を組み合わせる進行）
・ 講義Ⅰ 支援の質とアカウンタビリティ概論
・ 講義Ⅱ スフィアハンドブックの概要
・ 事例演習

※適宜休憩や昼食を含む

15:30~16:00 まとめ

16:00~ 閉会

(2) 事前学習（資料通読は必須。推奨：オンデマンド動画の視聴）

※ 令和7年3月4日(火)~3月17日(月)までに御視聴ください。

	内容	所要時間（目安）
1	必須：指定資料の通読	45分
2	必須：事例演習（QA市避難所）資料の通読	15分
3	推奨：動画視聴（①②③JQAN作成、④IFRC作成）	
	1 「スフィアとは、人道憲章、権利保護の原則」	30分
	2 「CHS(人道支援の必須基準)」	30分
	3 「技術的最低基準」	30分
	4 行動規範に関する動画 Code of Conduct 2010 English ※ 字幕選択あり(https://youtu.be/l8H4_PTrkJU)	10分

9 講 師

岡野谷 純 氏

・ 特定非営利活動法人日本ファーストエイドソサエティ（JFAS）代表理事

阪神淡路大震災にて支援活動を開始。初期には支援者の活動安全・健康管理の必要性を提唱。東日本大震災以降の災害ではスフィアの理念に基づく広域避難プロジェクトを展開、現在も継続中。スフィアトレーナー歴：10年

渡辺 康人 氏

・ 特定非営利活動法人バルビー 災害看護専門看護師

・ 日本赤十字看護大学大学院 国際・災害看護学専攻 博後期課程

平成28年熊本地震や令和2年7月豪雨、能登半島地震で看護支援を実践。特に、スフィアハンドブックを活用しながら、被災者の尊厳を重視し、健康を守る取り組みを行う。

10 申込方法

熊本県社協ホームページの「災害支援に携わるに支援者のための研修会」又は、次の URL 及び二次元バーコードからアクセスし、必要事項を御記入のうえ、令和 7 年 2 月 28 日(金)午後 5 時までにお申込みください。お申込みが完了すると、登録いただいたメールアドレスに自動返信されます。

〔参加申込フォーム URL〕

<https://9c3d4cf9.form.kintoneapp.com/public/sphere>



11 会場の駐車場について

県庁駐車場は使用可能ですが、数に限りがありますので、乗り合せ等に御協力ください。

県庁駐車場に駐車困難な場合は、各自、近隣のコインパーキング等を御利用ください。

12 個人情報の取り扱いについて

参加申込フォーム等に記載された個人情報は、本研修会の運営管理の目的にのみ利用します。
なお、本研修会の参加者名簿に所属・役職・氏名を掲載します。

13 その他

- (1) 申込み後に参加を取り消す場合は、速やかに本会事務局へ御連絡ください。
- (2) 本研修会の録音、録画、撮影、無断転用は固く禁止いたします。

14 問合せ先

熊本県社会福祉協議会 熊本県ボランティアセンター 担当 池尻・高本
メール kvc@kumashakyo.jp 電話 096-324-5436